

率先しよう  
LEAD THE WAY

# IBARAKI ROTARY

Club Weekly Bulletin



RI第2660地区 茨木ロータリークラブ 創立 昭和34年(1959年)12月23日



事務局 大阪府茨木市上中条一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL (072) 622-2255 〒567-0881

例会 毎水曜日12時30分 ホテル日航茨木大阪 茨木市中穂積一丁目1-10 TEL (072) 620-2121

会長/中西 勝 幹事/辰巳克平 会報委員長/野田征夫  
委員/吉田 明、黒田悦男

姉妹クラブ:台北 西北区 扶輪社 1967年6月7日締結  
双子クラブ:インドネシア・チネレRC-ジョグジャカルタRC 2004年7月19日締結

No. 30 平成19年 2月28日

## 本日の卓話

2月 28日(水)

「世界理解と平和の日」

地区 WCS 委員会副委員長 宮里唯子氏

## 出席報告

第2318回例会			前々回(第2316回)		
会員数(免除)	出席	欠席	出席率	欠席	補正出席率
26(7)	18	1	94.74 %	2	89.47 %

## 例会記録

第2318回例会 2月21日(水) 晴  
ロータリーソング「我等の生業」斉唱  
ビジターご紹介  
ヴ- ティ トウ タオさん(米山奨学生)

1月ホームクラブ皆出席 簡、笠原  
久保、長澤、坂井、朱、多田、辰巳、戸川

## 会長の時間

中西 勝会長

2月は世界理解月間ですが、2/23は、「世界理解と平和の日」と「ロータリー創立記念日」であります。

本日は、野田会員から「ロータリー創立記念日」の卓話をしていただき、次週は大森会員から「世界理解と平和の日」について卓話をしていただきます。

世界の情報は、次々と入ってきます。今まだ戦争をしている国もあるのが現状です。

地球環境が急速な温暖化のために、危機的状況にあります。戦争などは、早急に解決し、全世界の人々が力を合わせて真剣に、温暖化ガス発生抑制問題解決に、取り組まなければならない時だと思えます。

私は、職業的にこの問題に係わる事が多いので、大変な危機感を持っています。



日本人は、大変水に恵まれているために、水に対する危機感が少ないように思います。

最近、アル・ゴア元アメリカ副大統領が、世界中に出かけて、地球温暖化防止のために活動されている報道がなされています。

「不都合な真実」ランダムハウス講談社発行 2、940円 という日本語訳の本が出版され、話題となっています。先月、書店で入手できなかったのですが、一昨日入手することが出来ました。写真を多く載せ、わかり易く、危機的な状況を理解することが出来る内容でした。早速、当社内で回覧しています。映画にもなっているのですが、お忙しい皆様方には、本の方が手取り早いのではないかと思います。

世界理解という内容は、非常に幅広いのですが、地球環境の急激な変化で、今世界の国々が、どのように成りつつあるかを理解していただくのに、この本の購読をお勧めいたします。

## 幹事報告

辰巳克平幹事

### 1、RI及び2660地区連絡事項

- 1) R 財団より久保会員にマルチプル・ボール・ハリス・フット・ピンが届きました
- 2) 第3回 GSE 担当委員長会議の案内  
2/27(火) 於: 杉阪急球パーク
- 3) 会長エレクト研修セミナーの案内  
3/24(土) 於: 薬業年金会館
- 4) 第2回新旧 WCS 委員長会議の案内  
3/17(土) 於: 薬業年金会館

### 2、茨木市、他RCよりの依頼事項

- 1) 第2650地区より改定版「ローター情報マニュアル」  
購入の案内(2000円)
- 2) 台北西北、吹田江坂 RC より会報



皆さんの顔を思い浮かべてがんばりました。大変お世話になりました。色々とうりやうございました。

## 委員会報告

### ゴルフ同好会

倉内貞敏会員

「ゴルフコンペの案内」

5月12日(土)をとりあえず仮押えしています。

### 国際奉仕委員会

長澤利治会員

「マレーシア訪問の報告」

2/12~17 マレーシアのアンパンRCとコンバックRCを訪問。コンバックRCには、2年半前、茨木の米山奨学生のリザ・ムヒダさんが入会しており、現在、国際イスラム大学助教授をしており、90カ国から11,000人の学生数のマンモス大学です。

マレーシアの養護学校の視察もしてきました。日本と違って、国の補助が20%だけで、他はスポンサーの支援で運営され、普通校を退職された方で、意欲のある先生がボランティアでされています。茨木養護学校からの作品の贈呈をし、マレーシア養護学校からのものも持って帰りましたので、今後は双方のやり取りを進めていき、サポートもしていきたいと思います。

### 米山奨学生の報告

リザ・ムヒダさん

とりあえず、ご報告します。

私は、修士論文を提出して合格しました。仕事は来年9月からに決まりましたが、それまでに何をしようかと、博士試験も受けてみて、合格しました。すべて、皆様のおかげです。実は、試験を受けながら、

## 卓話

### 「ロータリー創立記念日について」

野田征夫会員

茨木ロータリークラブ創立10周年当時のロータリー創立についての見方

ロータリークラブの創立については、沢山の資料がありますが、それは、ほとんどが国際ロータリーの資料の翻訳が多く、日本人の目から見た創立についての考えではないと思います。

そこで、私は資料として、「茨木ロータリークラブ10年の歩み」を選びました。その中の序のことに初代会長 皆川利男氏が「創立当時を顧みて」と題して、茨木RCの創立当時のことを述べられ、最初にRIについても述べられています。

まず、ロータリー創立について、つぎのように紹介されています。

2年前にロータリー創立100周年がありましたので、ほとんどの皆さんはご存じでしょうが、ロータリーは、1905年2月3日、有名なアル・カポネが暗躍するなど犯罪者のもっとも多い米国イリノイ州シカゴにおいて、創始者ポール・P・ハリスたち4人が明るい街にしようとして立ち上がったことから始まったともいわれます。

最初の4人の話し合いは、どうすれば暗黒の世相を正しく住み良い平和な世界につくれるかが中心となりました。そして、お互いをよく理解しあい、お互いの友情・友愛を深め、自らのおかれた立場で奉仕していくしか解決はない、というのが4人の結論でした。そして、そのための会合を4人の回り持ちで開くことにしたことから、ロータリーと名が付けられたわけです。

それから、会員はひとつの地域社会でいろいろな職業に活動する人々の中から、一職業一人の人格者を選んで会員にしたところに、ロータリーの特徴が

現れたのです。

その地域社会の各職業を代表する人々が奉仕の精神を発揮する、あるいは奉仕の理念に生きるといったことが、各方面に共感を呼んでどんどん広まり、1910年には、カナダにロータリークラブが創立され、1912年には英国に生まれ、1920年には日本（東京）にできました。それは、世界で855番目といわれています。そして、1922年に大阪に、それから1959年に茨木に誕生したのであります。それは、国際ロータリー第365区で43番目でありました。

以上が初代会長、皆川利男氏の紹介です。そして、創立10周年の会長、野田三郎氏は、ロータリーの創立について、つぎのように述べられています。

世界の発祥、すなわちロータリーの誕生は、明治39年（1905年）経済恐慌で人心がすさんでいたその頃、シカゴにおいて青年弁護士であったポール・P・ハリス氏がこうした状況を憂え、友人と図って精神的な友愛と理解を含んだ奉仕の精神をもって、人心の安定を企てたのがはじめであります。

当時、その友人の事務所でも回り持ちに会合して話し合ったので、ロータリーの名が付けられたそうです。現在では、世界146カ国が参加し、クラブ数は13,865、会員数657,600名という大勢力になっております。（因みに現在では、168カ国、クラブ数は32,596、会員数が1,221,812名です。当時と比較すると、クラブ数では2.35倍、会員数では1.86倍になっています。）

ロータリー創始者の精神である、友愛と理解協調の精神をもった者が、一丸となって、地域的または世界的に平和と幸福をもたらされる方向に活動を進めるべきであります。

以上のような考えで、われわれの先輩は、ロータリー活動に取り組み始めて来ました。われわれも今後、ロータリー活動を展開するにあたり、先輩の意思を尊重し、地域社会や世界奉仕のために頑張ろうではありませんか。

#### ジェイムス・P・ウォルシュによるロータリーの起源について

ところで、ジェイムス・P・ウォルシュ著『ポール・P・ハリス—偉大なる奉仕の先駆者』は、ロータリー創立75周年を記念して出版されたロータリーの創始者、ポール・P・ハリスの伝記です。また、著者のウォルシュは、イギリスのクロイドン・サウスRCのメンバーで、30年間、一貫してライブラリアンの道を歩み、国立図書館や大学図書館等において、上級ライブラリアンの仕事に従事し、



米国在住中は、百科事典、辞典、地図などの専門として名声を博しました。

その著書の第11章にロータリーの起源について、次のように現わされています。

「気象記録によると、1905年2月23日木曜日の夜は、身を切るように寒かった。空は晴れていたが、地面は鉄のように堅く、川や湖には厚い氷が張っていた。20世紀はまだ5年すぎたばかりで、世界を苦しめた病魔はアメリカにも、そして、シカゴにも蔓延していた。景気は悪く、汚職と犯罪がはびこり、人々の心は沈滞しきっていた。

シカゴから良い事は一つ生まれなかったと言われてきたが、この言は不当である。フランセス・ウィラードが1879年に、はじめて女性クリスチャン禁酒同盟を起こしたのはシカゴであり、ジェイン・アダムスが1889年に、ハル・ハウスを設立したのも、このシカゴであった。ほかにも良い事がシカゴで生まれた例はたくさんある。

奉仕クラブ活動を創設するには、ひょっとして、これほど良い場所は無かったかもしれないし、20世紀初頭ほど適切な時期は無かったかもしれない。まさに、変革の時期であった。」で、始まっています。

その夜、今や定評ある弁護士になっていたポール・ハリスは、友人である石炭商のシルベスタ・シールと会食をともにし、食事をしながら、ハリスはシールに実業家や知的職業人のための新しいクラブの構想について、あらましを説明した。そうした人達は社会的な目的のために団結するだけでなく、お互いに実質的に助け合うのだと、シールに、この構想を話した。そして、その夜はその構想の詳細を説明した。

会員一人ひとりがそれぞれ自己の特定の仕事、職業を一人で代表することに、ユニークな利点があることを述べ、相互扶助を前提にすれば、各々の会員がお互いの顧客から利益を享受することができる、という考えである。シールはハリスの構想を理解し、他の二人の実業家に会うことを同意した。その二人

の実業家に合うことを同意した。その二人の実業家とは、ハリスの顧客であった鉾山技師のガスターバス・ローアと洋服商のハイラム・E・ショーレーであった。彼等四人に共通していることは、四人がすべて村か小さな町の出身者で、皆一様に都市生活の孤独に辟易して、出身地での連帯感あふれる生活に郷愁をおぼえていた。そして、その四人は近くのビルの事務所に行った。そこで、ローアとショーレーは、ハリスから新しいクラブに関する説明を聞き、シールに劣らぬくらい熱心になった。そして、会員となることにより事業利益を得ることをはっきり認識し、同時に、二回目の会合には、それぞれ友人を連れてくるようにすると約束した。そして、その会場は、ハリスの法律事務所、二週間後に行われることになった。

これがロータリーの始まりである。世の中では成功したが、孤独な四人の人間が、彼等独自の彼等なりの交友をもとめたのである。ハリスが彼等に申し出たのは、交友はもちろん、それにもまして、単純な相互取引という手段を通じて、各会員が互いに大きな利益にあずかれるような、そうしたグループであった。ハリスは当時、交友と相互の利益という二つの動機以上のことは、何等話題に出さなかった。

このようにして、クラブが結成され、会員も増えた。その輪が米国に広がり、世界へ広がって今日の国際ロータリーが出来上がったものである。

これで、日本人と英国人から見たロータリ創立記念日に因んだ卓話と致します。

簡、笠原、長澤、三好  
長澤会員、笠原会員おみやげおいしかったです  
秋山、掛谷、久保、中西、多田、岡野  
前回欠席のお詫び 三好、多田、吉田  
山田さんより記念の湯飲みをいただいて  
高島、吉田

本日計 62,000円  
累計 1,492,212円

### 次回卓話

「次年度方針について」

坂井正純会員

### ニコニコ箱

配偶者誕生を記念 大森

結婚記念日 笠原

ホームクラブ皆出席

簡、久保、長澤、坂井、朱、多田、辰巳、戸川  
長澤会員マレーシア訪問大変ご苦労様でした  
中西、久保

当社の自動運転ポンプが発明大賞に応募して考  
案功労賞をいただきました 中西

マルティン・P・ハリス・FII-を頂いて 久保

ベトナムのタオさん合格おめでとう

簡、倉内、長澤、辰巳、多田  
中西会長、工場見学と、とっても美味しいカニ料  
理を有難うございました 多田

森祐理さんの美しい声を聞かせて頂いて 多田

愚妻誕生祝の花がきれいに咲いています 大森

大森会員に写真をいただいて